

2023年6月22日
東京MOU事務局

KR-CONを韓国船級協会から受贈 ～第11回東京MOU一般研修用に「KR-CON」を35セット～

東京MOUでは、日本財団のご支援により、初任又は暫く業務から離れていたPSC検査官を対象にした全般的な研修として一般研修を、毎年日本で実施しております。COVID-19の影響により、2020年及び2021年は中止、2022年はオンライン開催となったため、本年、4年振りに対面方式にて開催することとしています(開催期間:8月16日(水)～9月7日(木))。

本日、韓国船級協会(KR)から、同研修に参加する研修生用として、IMO及びILOの関係条約等を網羅したデータベースである「KR-CON」USB版(最新版:ver. 21)35セットを寄贈していただきました。

これにより、研修生は、膨大かつ複雑なIMO及びILOの条約、規則、決議等を迅速かつ容易に参照でき、研修の効率化・充実化に大きく資するものと期待されます。

なお、同船級協会によるKR-CONの寄贈は、2013年以来、一般研修の開催に際して行われてきており、今回で9回目となりますが、非常に便利なツールとして研修生から高い評価を受けています。



KR 日本代表・李鎬丞氏
(右)より贈呈を受ける当
財団久保田理事長

お問い合わせ先

(公財) 東京エムオウユウ事務局

03-3433-0621

担当: 久保田・秋元

Editor's note

東京MOU：ポート・ステート・コントロールに関するアジア太平洋地域協力協定（Memorandum of Understanding on Port State Control in the Asia-Pacific Region）の略で、P S Cを効果的に実施するため、検査方法の統一、検査情報の共有等を図るための地域協定。2023年2月1日現在、以下の21の当局がメンバーとなっている。また、メキシコが準メンバーとなっているほか、7の当局及び10のI G Oがオブザーバーとなっている。事務局は東京、データセンター（A P C I S）はモスクワに所在。

メンバー：オーストラリア、カナダ、チリ、中国、フィジー、香港（中国）、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、マーシャル諸島、ニュージーランド、パナマ、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、ロシア、シンガポール、タイ、ヴァヌアツ、ベトナム

準メンバー：メキシコ

オブザーバー：カンボジア、北朝鮮、マカオ（中国）、サモア、ソロモン諸島、トンガ、US C G、I M O、I L O、パリM o U、インド洋MOU、黒海MOU、リヤドMOU、カリブ海MOU、アブジャMOU、地中海MOU、Viña del Mar Agreement（南米MOU）

ポート・ステート・コントロール（P S C）：海上人命条約、海洋汚染防止条約等で認められている寄港国の権利として実施する外国船舶への立入検査のこと。海上安全、海事保安、海洋環境保護、船員の作業・居住条件に関する条約の規定に適合しているかを確認し、著しい不適合が認められた場合には、航行停止処分（detention）を行うことができる。条約の義務を十分に果たしていない旗国や船舶所有者に対し、条約への適合を促す効果が期待されている。

東京MOUが実施している研修訓練事業：

日本財団のご支援を得て以下の事業を実施。

一般研修：初任或いは暫く業務から離れていたP S C検査官を対象にした全般的な研修で、日本政府（国土交通省海事局）の全面的なご協力により、毎年日本で実施している。事前オンライン講習（32科目）、座学（1週間）及び訪船実習（2週間）で構成され、P S Cの基礎を習得させることを目的としている。域内途上国を中心に毎年十数名が参加するほか、I M Oの資金援助により他のP S C組織（パリM o Uを除く。）からも参加している。

2023年は、8月16日（水）から9月7日（木）までにおいて、第11回一般研修の座学（於：横浜）及び訪船実習（於：各地方運輸局）を実施し、24名の研修生が参加予定。

専門家派遣研修：経験豊富なP S C検査官を加盟当局に派遣し、現地で座学・訪船実習等の研修を実施する事業。

P S C検査官交流研修：P S C検査官を他の加盟当局の検査に実際に参加させ、自国の実施方法等との相違等について意見交換をさせることにより、P S C検査方法の統一を図ることを目的とした研修。

セミナー：新たに導入された条約等の要件や集中検査キャンペーンのテーマ等最新のP S Cに関する知識を習得させるための研修で年1回実施している。

専門研修：特定のテーマについて専門知識を習得させるための研修で2年に1回実施している。

以上